

科目内容

領域名	生活支援・介護過程に関する領域
科目名	自職場事例を用いた演習
教育目的	<ul style="list-style-type: none"> ・事例から個別支援計画を作成し、実施方法を介護職チームで検討することができる力を育成する。 ・計画を実施し、介護職チームが適切な記録から計画の評価、課題の抽出により、計画を修正することができる力を育成する。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・事例について、各種の知識を活用し、利用者の全人的理解や他専門職からの情報等を統合し、適切なアセスメントにより、個別支援計画を作成することができる。 ・計画の実施方法を検討し、介護職チームと共に適切に計画を実施することができる。 ・実施状況を記録し、実施内容を評価・指導することができる。 ・実施内容の評価から、介護職チームと共に計画を修正することができる。 ・介護福祉士としての介護観・支援の考え方・倫理観を確立し、多職種と連携することができる。 ・個別支援計画と実施内容の妥当性について評価し、介護職チームを指導することができる。
時間数	30時間
含むべき内容	<ul style="list-style-type: none"> ○学んだ知識・技術を統合し、利用者の全人的理解、他の専門職の情報（治療状況、看護の経過、リハビリの経過）、家族状況などを踏まえた、個別支援計画の作成（医療・看護・リハビリ等の知識の確認を含む） ○自職場で個別支援計画をプレゼンテーションし、介護職員の共通理解を図る ○自職場で個別支援計画を実施し、実施経過を記録する ○実施経過から事例検討のための資料を作成し、事例検討会を開催する
留意事項等	○講義と自職場での演習によって研修を展開する。
課題学習の可否	全部可・一部可・否 自職場で20時間の課題を実施
修了評価の方法	事後課題（自職場での事例検討会で使用した資料と実施レポート）を課し、提出された内容で評価する
受講要件	・「個別支援計画作成と記録の演習」を修了していること
講師要件	<ul style="list-style-type: none"> ・当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験があること ・修士課程を修了している介護福祉士であることが望ましい ・当該科目に関連した講義を実施した経験のある認定介護福祉士が望ましい